令和7年度　高松市外郭団体　経営評価シート

1　団体情報

No.	6	種別	公益財団法人	団体名	公益財団法人　高松市国際交流協会
所在地	〒760－0017　香川県高松市番町一丁目11番63号　アイパル香川内				
電話番号	087－837－6003		FAX番号	087－837－6005	
団体ﾎｰﾑﾍﾟｰｼﾞ	https://tia-takamatsu.jp/			所管部局	創造都市推進局 観光交流課 都市交流室
代表者職氏名	理事長　渡邊　智樹			設立年月日	平成2年8月17日 公益財団への移行：平成24年4月1日
基本財産	30,000　千円	市出資等額(割合)	30,000　千円	（100.0%）	
設立目的	高松市、民間団体等と相互連携を図りながら国際交流事業を効果的、かつ、積極的に推進することにより、高松市の国際都市としての発展に寄与するとともに、世界の人々との相互理解と友好親善を図り、もって市民福祉の向上と多文化共生社会の実現を図る。				
事業概要	（1）海外の諸都市との国際交流事業の実施 （2）市民の国際交流活動に対する支援 （3）国際交流に関する講演、講座、派遣研修等の実施 （4）留学生、研修生等在住外国人に対する支援 （5）国際交流に関する情報の収集及び提供				
評価対象決算期	令和7年4月1日　～　令和8年3月31日				

2　組織の状況(4月1日現在)

	令和7年度	令和6年度	令和5年度
役員数(非常勤含む)	12 人	12 人	12 人
うち市派遣(兼務含む)	2 人	2 人	2 人
うち市退職者	1 人	1 人	1 人
役員平均年間報酬	3,540　千円	3,632　千円	3,632　千円
職員数(非常勤含む)	4 人	4 人	4 人
うち市派遣(兼務含む)	0 人	0 人	0 人
うち市退職者	0 人	0 人	0 人
職員平均年間報酬	3,046　千円	2,701　千円	2,281　千円

3　主要事業一覧及び概要

事業名	事業概要	令和7年度事業費
姉妹･友好都市等との交流関係事業	本市の姉妹･友好都市の3都市へ親善研修生、親善訪問団等の派遣事業を行うとともに、姉妹･友好都市をはじめとする諸外国からの訪問者と市民が、相互理解、友好親善を深めるための支援を行う。	2,738　千円
多文化共生推進事業	市内に在住する外国人を支援するとともに、市民が、外国人と触れ合えるような各種国際交流活動を促進する。	3,442　千円

4　市の財政的関与の状況

	令和7年度	令和6年度	令和5年度
補助金	2,755　千円	2,526　千円	2,814　千円
委託料	0　千円	0　千円	0　千円
うち指定管理料	0　千円	0　千円	0　千円
その他	0　千円	0　千円	0　千円

5 財務状況

①正味財産増減計算書

区　分	令和7年度	令和6年度	令和5年度
経常収益	10,364　千円	8,323　千円	8,551　千円
経常費用	30,526　千円	27,807　千円	24,974　千円
当期経常増減額	△ 20,162　千円	△ 19,484　千円	△ 16,423　千円
経常外収益	0　千円	0　千円	0　千円
経常外費用	0　千円	0　千円	0　千円
当期経常外増減額	0　千円	0　千円	0　千円
当期一般正味財産増減額	△ 32,604　千円	△ 34,402　千円	△ 23,310　千円
当期特定正味財産増減額	0　千円	0　千円	0　千円
当期正味財産増減額合計	△ 32,604　千円	△ 34,402　千円	△ 23,310　千円

※四捨五入の関係上、千単でずれる場合があります。

②貸借対照表

区　分	令和7年度	令和6年度	令和5年度
流動資産	14,268　千円	4,664　千円	3,954　千円
固定資産	283,125　千円	323,626　千円	358,730　千円
資産計	297,393　千円	328,290　千円	362,684　千円
流動負債	3,360　千円	1,654　千円	1,645　千円
固定負債	0　千円	0　千円	0　千円
負債計	3,360　千円	1,654　千円	1,645　千円
指定正味財産	30,000　千円	30,000　千円	30,000　千円
一般正味財産	264,033　千円	296,637　千円	331,039　千円
正味財産計	294,033　千円	326,637　千円	361,039　千円

※四捨五入の関係上、千単でずれる場合があります。

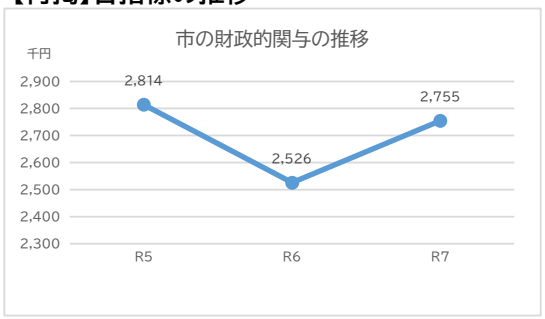
＜主な経営指標＞

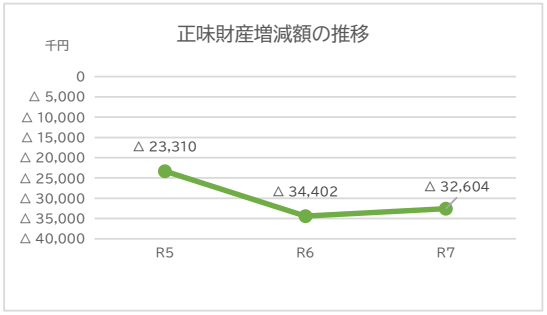
区　分	令和7年度	令和6年度	令和5年度
流動比率 （流動資産÷流動負債）	424.6　%	282.0　%	240.4　%
自己資本比率 （正味財産計÷負債･正味財産）	98.9　%	99.5　%	99.5　%

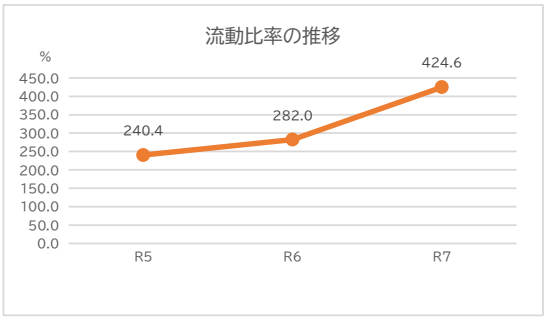
6 経営評価の総括

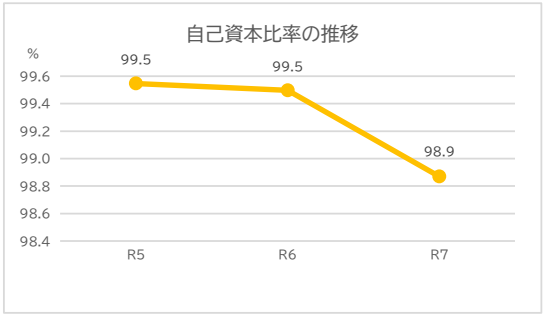
項　目	外郭団体による総括	所管課による評価
①公益的使命･市が期待する役割への対応	世界の人々との相互理解と友好親善を図り、国際交流の推進と多文化共生社会の実現に向けた、海外派遣事業や外国文化紹介事業、日本語学習支援事業などの事業を通して、市が掲げる「人がつどい未来に躍動する世界都市･高松」の推進に貢献した。	国際化の進展により、異なる文化や習慣を理解し、尊重し合える市民の国際感覚の涵養や多文化共生への理解が求められており、国際交流推進事業及び多文化共生推進事業等を実施する当協会は、本市の施策に大きく貢献している。
②業務･組織管理	各職員の専門知識を有効活用し、尚且つ業務量が均等になるよう業務分担を行った。また、給与においても、本市会計年度任用職員の同様の職務を担う職員と同額となるよう改定し、引き続き、勤務環境の改善に努めた。	各職員の業務量を調整するなど、業務の見直しにも取り組んでおり、職員の給与も適宜、適切に見直しを行うなど、職務環境の健全化にも努めている。
③財務状況	市からの補助金に加え、他団体からの助成金や、企業からの協賛金、広報誌を活用した寄付金の募集など、あらゆる方法での自己財源の確保に努めた。また、現有の資産についても、適切な運用による有効活用に努めた。	市からの補助金や助成金を活用し、事業に取り組んでいるものの、毎年、自己財源を取り崩している状況であり、今後新たな財源確保策を検討されたい。
④今後の方向性及び課題	昨今の円安や、航空料金等の高騰など経費の増加により、事業の継続に困難が生じているが、真に必要な事業を見極め、限られた財源を有効活用し、協会の目的の達成が継続できるよう努めていきたい。	世界的な燃料費の高騰や、円安の進展などにより、海外渡航費が高額となっており、親善研修生の海外派遣などを行う親善研修生の派遣に伴う費用などが増加している。新たな財源確保策や、事業の見直しなどの検討が必要である。

【再掲】各指標の推移


市の財政的関与の推移
千円
2,900
2,800
2,700
2,600
2,500
2,400
2,300
2,814
2,526
2,755
R5
R6
R7


正味財産増減額の推移
千円
0
△ 5,000
△ 10,000
△ 15,000
△ 20,000
△ 25,000
△ 30,000
△ 35,000
△ 40,000
△ 23,310
△ 34,402
△ 32,604
R5
R6
R7


流動比率の推移
%
450.0
400.0
350.0
300.0
250.0
200.0
150.0
100.0
50.0
0.0
240.4
282.0
424.6
R5
R6
R7


自己資本比率の推移
%
99.6
99.4
99.2
99.0
98.8
98.6
98.4
99.5
99.5
98.9
R5
R6
R7